昭和55年11月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 4111番㊥・〒754—12

印刷 よしの印刷株式会社

広報あじす

No.347

町の住民登録人口
（55年10月31日現在）　前月比
世帯　2,214世帯　－1
人口　8,374人　＋12
（男3,927人　女4,447人）
（国勢調査　昭和50年10月1日）
世帯　2,113世帯
人口　8,137人
男3,771人　女4,366人

記念行事はロングラン

公民館

芸能は日曜ごとに

芸術祭　文化団体が自主運営

町公民館落成に合わせての記念行事は①公民館まつり（町と町教育委員会主催）②芸術祭（阿知須の文化を高める会）の二つに大別されます。

公民館まつりはすでに十月三十一日から十一月三日にかけて芸能（ピアノ聞きや子どもの芸能、レクリエーションなど）や習得コーナー、展示など行ない、盛況でした。

芸術祭は町内の文化団体が集って「阿知須の文化を高める会」をこのほど結成、自主的に運営・開催するもので、文芸、菊花、盆栽展、芸能の一部（民謡研究会、日本舞踊花城会、剛山流詩吟）はすでに終り、あとは囲碁・将棋大会や芸能を日曜日ごとに開くことになっています。

本紙発行以後の行事は次のとおり。

9日　囲碁大会（9～17時）
16日　将棋大会（9～16時）
芸能（13～16時）
歌、楽器演奏、民謡、詩吟
コールあじす、さつき会
あじす101、ブルーエンゼル、中学ブラスバンド、剛山流詩吟、民謡同好会
16・17日　生花展（9～16時）
23日生花展（9～16時）
23日　芸能（13～15時）
詩吟、尺八、民踊、三味線
真吟流詩吟、琴古流尺八
岩倉民踊、邦楽糸の会

協議会主催による「明るい健康づくり推進のつどい」が十一月二十一日午前九時から町公民館で開かれます。

参加は小郡、秋穂、阿知須の三町の環境衛生や保健衛生関係者ら約四百人が参加、功労者表彰や事例発表、講演などあり午前中で終る予定です。

事例発表は▽私の健康管理—松尾キミヨ（小東）▽わが家の冷蔵庫の中から—桜井文子（砂三）▽六群をみつめて—竹原興子（南祝）▽日常生活の心がけ—鈴川貴穂（岡）

実技指導は「わたしの健康法」蔵谷寛（東）のみなさんです。

講演は山口県国民健康保険連合会審査第一課・野村伸児課長で、演題は「すこやかな百歳をめざして」。

牛乳類をサービス

この大会の入場者全員に牛乳や乳酸飲料が無料で配られます。

また、山口保健所からは参加者のうち抽せんで五人に「牛乳一か月分」が贈られます。

そのほか、町栄養推進員の手づくりによる「牛乳を使ったおやつのサービスもあります。

これらは、いずれも牛乳が栄養のバランスがとれた食品であることから、栄養の片寄らない生活をおくろうというのがねらいです。

なお、当日は日赤の献血車も来場し、みなさんの善意ある献血を受けることになっています。

吉敷郡内の健康づくりのつどい

十一月二十一日公民館で

「自分の健康は自から守る」というねらいで、町環境衛生組合連合会と山口市吉敷郡衛生組織連絡協議会主催で、町環境衛生組合連合会（桂直樹会長ら三十八人）は十月二十八日、小郡町で開かれた吉敷郡教育振興大会の席上、社会教育功労団体として表彰されました。

地域に根ざした実践活動

町青年団・ぶどうの実　社会教育功労団体で表彰

阿知須町青年団・ぶどうの実のこれまでの表彰は、今回の表彰はこれが認められたばかりでなく、近年、青年活動が衰微しつつある中にあって、こうして地域に根ざした活動をしていることは、非常に意義があることだと評価されています。

ところで町青年団・ぶどうの実の会員はこのほど交通安全推進運動の一つとして自動車運転者に千羽鶴やマスコットを配りました。

この日、参加したのは男女約二十人。阿知須中学校近くの国道バイパスで、警察官や小郡交通安全協会員の協力を得て、小郡方面に向う自動車をとめ「運転に気をつけてください」と呼びかけるとともに会員手づくりの折り鶴やマスコット人形など手渡しました。

（写真はドライバーに交通安全を呼びかける会員たち）

話します・聞きます町政懇談会

こんどは阿知須浦地区

町では十一月中に阿知須浦地区で町政懇談会を開きます。町長が地区に出向き、町政報告をすると共に、みなさんの声を直接聞き、町政に反映させようとするのがねらいです。

すでに井関・岩倉地区は十月中に終りました。十一月は次の日程です。いずれも午後七時半から。

十一月　日・曜　会場（公民館）対象地区
四日（火）西条　中村・西条
五日（水）繁田　繁田
六日（木）砂郷　砂郷
十一日（火）小古郷　小古郷
十二日（水）東条　東条
十三日（木）鴨生原　鴨生原
十四日（金）浜　浜・寺河内
十七日（月）飛石　飛石・沖の原

お知らせ

十一月二十三日に町内駅伝競走大会

起・終点は町公民館前

第三十一回町内駅伝競走大会は十一月二十三日（日）午前九時半から町公民館前で開会式を行ったあと、十時スタートし、七区間一五・七五キロのコースで健脚を競います。

チーム分けは例年どおり十五地区対抗ですが、ことしは井関地区でコースが一部変更されました。

各区間の距離および選手はつぎのとおり。数字はメートル。

▽一区・小学生＝町公民館～小古郷会館　一、六〇〇
▽二区・青年＝小古郷会館～丸塚五号古墳前　二、二〇〇
▽三区・中学生＝丸塚五号古墳前～旦岡公民館前　二、七〇〇
▽四区・四〇歳以上＝旦岡公民館前～井関小学校前　一、二〇〇
▽五区・高校生＝井関小学校前～引野農道・仙在線十字路　三、一〇〇
▽六区・三〇歳以上＝引野農道・仙在線十字路～赤迫上橋　一、七五〇
▽七区・青年＝赤迫上橋～町公民館前　三、二〇〇

町同和推進大会

体験発表や記念講演など

町と町教育委員会、町同和教育推進委員会は十一月十三日（木）午後一時半から町公民館で「阿知須町同和対策推進大会」を開きます。

当日は同和問題に対する青年リーダーの体験発表や小・中学生の作文朗読、「同和教育の歩みとこれからの課題」と題する山口大学の真田元裕教授の講演などあります。

一般の人もどうぞご参加ください。

〝楽しく走って体力つくり〟

十一月十六日　楽しく走ろう会

町民楽しく走ろう会が今年も十一月十六日、井関川沿いの町トリムコースで行われます。だれでも自分の体力に合った走り方ができますので参加希望者は出発点（井関川路切そば）にご参集ください。

種目は①タイム宣言トリムマラソンの部（二キロコース、三キロコース）②走ろうの部の二種目。

なお、参加者全員に記念証と記念バッジ。また宣言時間と実所要時間差が二秒以内の人には記念メダルが贈られます。

ロケット博士

糸川英夫氏の講演会

十一月十八日町公民館で

吉厚美ブロック商工会主催による講演会が十一月十八日（火）午後二時から町公民館で開かれます。

講師はわが国の宇宙開発の第一人者で現在組織工学研究所長の糸川英夫氏。演題は「八十年代における逆転の発想」です。

同氏はロケット博士とも呼ばれ、著書には「逆転の発想」「前例がないからやってみよう」など多数。

講演は無料です。

一般の人もぜひご来場ください。

善意はここに

（社会福祉協議会へ）

◇音楽返し▽八万円＝八木スミエさん（山口市陶）は弦歌川ハナエさんの▽五万円＝上田義喜さん東京都板橋区徳丸）は父忠三郎さんの▽三万円＝広重旭一さん（北祝）は妻ツルさんの、平海節子さん神戸市長田区山下町）は夫英夫さん、坂野哲雄さん（南祝）は母テ子さんの、竹原陽滝さん（旦門松）は父栄治さんの▽二万円＝背戸山知秀さん（旦北）は母ミイさんの、前田千代子さん（岩上）は夫勝さんの、粟谷梅子さん（岩上）は母サヨさんの▽一万円＝重村久代さん（旦門松）は父重治さんの。

（町へ）

◇広報紙送料＝三千円＝生田誠治さん（宇部市東区琴芝台・中村出身）

ぼくの学校　わたしの学校

（阿知須小）

11日　PTA会費納入日
14日　貯金日
17日　就学予定者健康診断
19日　インフルエンザ予防接種一回目
29日　阿小まつり
12月6日　避難消火訓練（井関小）
11日　体重測定
13日　スポーツテスト
14・15・16日　郡美術展
21日　インフルエンザ予防接種二回目
25日　避難訓練
26日　貯金日
12月6日　ふるさと学習

（阿知須中）

9日　文化祭
10日　振替休
16日　父親参観日
17日　公立高校入試説明会
19日　統一テスト（三年）、実力テスト（一・二年）
22日　校内マラソン大会
25日　インフルエンザ予防接種二回目
28日　月末大掃除
12月3・4日　学期末テスト

〝言いたい　聞きたい〟

町民相談係へ　どうぞ！

11月のメモ

9日　農業祭（前10時・農協）
11日　育児相談（後1時半）
12日　ポリオ生ワク投与（後1時半）
14日　交通事故相談（前10時）
18日　1歳6か月児健康診査（後1時半）　三種混合（後2時半）
20日　心配ごと相談（前10時）　インフルエンザ予防接種2回目（後1時半・砂郷保育園、阿知須幼稚園）
23日　勤労感謝の日
（会場の記入のないのは役場）

公民館メモ

12日　すみ絵教室（後1時半）　ペン字教室（後2時）
町成人大学講座（後7時）
15日　婦人学級（前9時半）
17日　あじのす大学〝歩こう会〟（前10時・岡山霊園）
18日　料理教室（前9時半）
19日　ペン字教室（後2時）　町成人大学講座（後7時）
20日　手芸教室（後1時）

今月の納税

○国民健康保険税

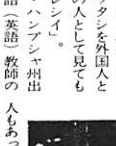
あじす運動　あ「あいさつ」をしよう　じ「じかん」を守ろう　す「スポーツ」にはげもう

こんにちわ

町ソフトボール大会に初参加した米国人女性
ブレンダ・ワッツさん

このほど開かれた町内球技大会のソフトボール試合に中西チームの一員として出場、優勝の喜びにひたった。試合後は西条公民館での慰労会にも参加、地域の人々とのコミュニケーションも上々。「ワタシを外国人とみないで近所の人として見てもらう。大変ウレシイ。」

米国ニュー・ハンプシャー州出身。大学で国語（英語）教師の資格を取得。「国際問題に関心をもっていたし、宗教仲間の紹介もあって」宇部工業高等専門学校の英語講師として二年前に来日。宇部市西岐波区萩原団地に半年いて、去年四月に本町に移った。「出身地が田舎なので田舎が好きだった。宇部では近所の人との交流は地域住者）として参加させていただきたい」という。



人もあったが、他の人が異様な目でみるのでつい話をやめるようだった」。

本町に移ってからは、今シーズンの町内早朝ソフトボール試合にも中西チームで三回出場、十数チームの紅一点であった。それにしても近所づき合いがしてもらえるのがとてもうれしいらしい。「環境はよいし、魚も野菜も新鮮なのが食べられる。いまのところ阿知須を離れたくありません」そして「ワタシでお役に立つことがあったらどうぞ言ってください。ボランティア（地域住者）として参加させていただきたい」という。

現在、本町の外国人登録者は十四人。うち十三人は韓国・朝鮮籍で、米国はワッさん一人。通称名は「和津」。宇部高専のほかに宇部短大、同付属中学の講師、自宅（ナワタ・アパート）で英話塾も開いている。独身。

長年の活動で
野上さんご夫婦そろって表彰

岡山合同納骨堂管理人・野上覚道さん（八）と八千代さん（八四）ご夫婦は共に法務省関係機関から永年功労者としてこのほど表彰されました。

寛道さんは昭和三十三年十月、法務大臣から保護司に委嘱されて以来、犯罪者や非行者の再犯防止と更生指導に努めてこられました。表彰はこのほど広島市で開かれた中国五県保護司大会で中国保護司連盟会長から。

妻の八千代さんは山口家庭裁判所の調停委員として十年間つとめ同家裁から勤続表彰。

家裁調停委員としては毎月五～六回の調停に当り年間十件ぐらい問題解決しているとのことです。元阿知須町婦人会長で現在は婦人グループ・千草会の代表。

こうした人たちのお陰で、本町の野球が高いレベルを保っているといえましょう。

あなたは町内野球の功労者
体協が十五氏を選彰

町体育協会（三好正之会長）はこのほど、本町の野球振興に永年功績のあった十五氏を選彰しました。町内野球大会はことしで三十回を迎えましたが、いずれも二十年余を選手として、あるいは役員として活動してきた人たちで、現在も町内野球に尽力している人たちばかりです。

なお第三十回町内野球大会（九月二十八日開催）は①砂郷②縄田③岩倉、小古郷チームの順でした。

被表彰者は次のとおり（敬称略）

沖水正明（小西）前田合人（前山）吉武正夫（築地）酒井好孝（南祝）香川均（縄北）松重仁（西条）米澤雄一（砂三）西村三郎（飛石）野村健二（浜）師井明徳（岩辻）鈴川明（岡）中村国松（井関）福岡輝義（浜表）大田三郎（向井関）江本文男（河内）

税を知る週間
―十一月十一日～十七日―

私たちは、国や市町村の活動、例えば、社会保険や生活保護の充実、教育や科学の振興、警察や消防などいずれも私たちの生活に欠くことのできないものを直接または間接的に享受しながら、生活をしています。そのため、税金は私たちが豊かで幸福な生活ができるように、幅広い活動をする大切な財源となっており、平和で豊かな生活を願うかぎり、どうしても負担しなければならない社会共通の費用であるといえます。

私たちは、単に義務として税金を納めるだけでなく、さらに税金の使われ方を十分に知る必要があります。

そこで、今年も十一月十一日から十七日までを「税を知る週間」として、私たちの生活に深いつながりのある税金についてみんなで理解を深め、考え合おうというものです。

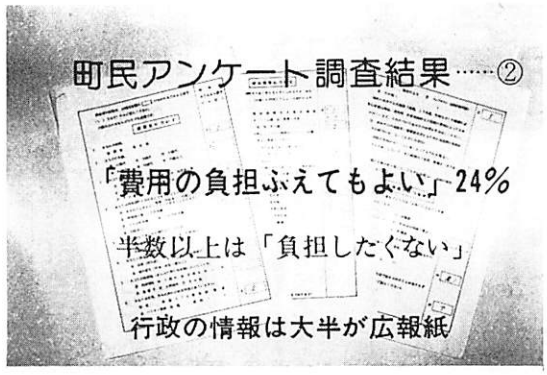
税金についてのご相談はお気軽に税務署へどうぞ。

給与所得の年末調整説明会

山口税務署は十一月十三日（木）午後一時半から町役場議事堂で年末調整の説明会を開きます。

税金の源泉徴収に当っての総決算ともなる事務取扱いの説明会ですので、町内事業所の給与支払い担当者はぜひ出席してほしいとのことです。

町民アンケート調査結果……②



今月も先月号に引続きアンケート調査の集計結果（男女合計）をお知らせします。

〈町の将来について〉の調査は九問でした。

「干拓地はどんなゾーン（区域）に利用したらよいと思われますか」

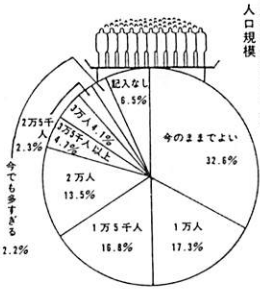
スポーツ・公園	二一・〇%
工業	一四・七
住宅	一三・八
レジャー	九・二
教育・文化	八・五
福祉	六・八
衛生処理	六・八
水産	六・五
農業	三・七
商業	三・〇
その他	一・〇
記入なし	五・〇

上位三つで四九・五%となり、約半数を占めています。あとはバラバラに分れている感じです。

「魅力ある町としての人口規模はどのくらいが適当と思われますか」というのに対しては

今でも処理	二・二%
今のままでよい	三二・六
一万人	一七・三
一万五千人	一六・八
二万人	一三・五
二万五千人	二・三
三万人	四・一
三万五千人以上	四・七
記入なし	六・五

つまり一万人程度まで、と記入した人は五二・一%



ちなみに、本町の人口密度は一平方キロメートル当り三六二・六人で県下五六市町村のうち高い方から一五番目、これが二万人になると、下関、小野田、光市についで四番目になる計算です。

「町発展のために特に力を入れてほしいと思われるのはどんなことですか」という問に対しては

下水道の整備	一〇・五%
し尿・ごみ処理など	九・九
福祉対策	七・八
工場誘致	六・〇
住宅対策	五・八
教育文化の振興整備	五・二
記入なし	七・二

あとは道路整備、体育・レクリエーション施設整備、保健衛生、農林水産振興、災害防止、商工振興交通安全施設、教育、交通機関の充実など続いています。

「農業は将来どういう点に重点をおいたらよいと思われますか」という問いには

畜産、野菜、果樹などの生産指導	四〇・八%
耕地などの基盤整備	二一・九
観光農業振興	一四・〇
その他	一・六
記入なし	一〇・七

「漁業の重点は……」

養殖・栽培漁業	六二・六%
沿岸漁業	二二・七
その他	一・九
記入なし	一二・八

「商業の重点は……」

商店街・ショッピングセンターの開発	三八・六%
卸売商業団地、流通センターの開発	二八・五
駐車場など環境づくり	二二・五
その他	一・一
記入なし	九・三

「工業開発を考えるとしたらどんな考えで進めたらよいと思われますか」は

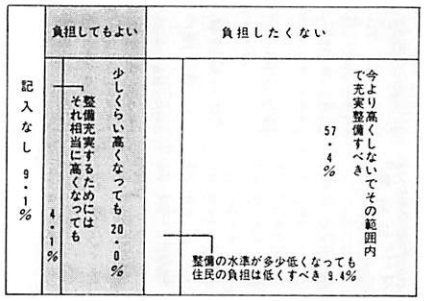
自然保護、公害防止など留意しながら誘致	六二・七%
企業誘致より地元の産業振興をはかる	二二・五
どんな企業でもよいから誘致する	八・八
その他	一・二
記入なし	五・八

「総合的にみて町の将来はどのような未来像を望まれますか」

近郊の住宅街	二〇・九%
農漁業のまち	一六・二
商工水産業のまち	一四・七
教育文化のまち	一四・一
工業のまち	一一・三
レジャー・観光のまち	八・四
商業のまち	四・六
その他	一・五
記入なし	八・三

「福祉の充実や公共施設に必要な経費は住民の負担によってまかなわれています。これについての考えを」

今より高くしないでその範囲内で充実	五七・四%
負担が少しくらい高くなってもやむを得ない	二〇・〇
整備の水準が多少低くなっても負担を低くする	九・四
一層充実するためには負担がそれ相当高くなってもやむを得ない	四・一
記入なし	九・一



〈町役場とのつながり〉で「町の仕事や行事はどんな方法でお知りになることが多いでしょうか」の問いには、町広報紙が七九・九で一ばん。

「この一年間、町の仕事に意見や要望、不満をもたれたことがありますか」というのに対して「ある」と回答されたのが四九・六%、そのうち何らかの方法で町役場へ伝えたというのが三八・六%。半数以上がそのままにされているようです。

「町に対して要望や意見が気軽に伝えられるための方法」としては、町民相談係の充実、町長と町民の話合いの機会を、地区懇談会、世論調査をたびたびするなどが約二〇%ずつありました。

十一月一日～三十日
青少年健全育成強調月間

みんなの広場
あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

河内　師井　泰枝

やはらかき娘の手さばさに若がへり鏡に映るわが髪かたち
浜　正司ウメノ

秋ふかむ長門路ゆけば田の畦に今をさかりの彼岸花咲く
旦東　木原百合雄

詩才とぼしき吾にしあれど励まして友は投稿今日もうながす
飛石　砂村ヤス子

蓮池の水に上りいし泥亀のわが近づけばつと水に入る
小西　平海アサノ

夕陽さす窓辺に病む子守りつつなかき看病の心いたむる
小西　藤重アヤ子

雨上りの水の溜りに雀二羽水浴びてをり朝の広場に
小東　松尾　君代

敬老会受付に居て知り人のそれぞれに声をかけて笑み合う
車を止め休息をしいたる吾迫りきしトラックの音に目覚めし
南祝　長谷川さつき

母に似し後姿の妹の背中をながす湯の香のなかに
北祝　原田　双恵

棋野川護岸工事の秋の空二羽の白鷺光りつつ飛ぶ
旦北　益弘　吾一

町蔵庫に安きみかんを妻と選る語り少なく寒き堤えつつ
浜　石田サダ子

ふるさとのはた山の跡形もなく点る街角に道を尋ねり
岩西　中本　幸枝

わら草履編むにつかひし藁打石今も残れり実家の隅に
源河　村井　薫

よみがへる一つ思ひよ土を黄に染めてこほるる木犀の下
砂三　渡辺　宮子

廻廊の脚はつつまに潮さし滝にまといつつ泡のたゆとふ
源河　三吉　琴

かまきりの捕へてもがく揚羽蝶木槿の花の上の葛藤
砂一　松代　二郎

雨後の古墳訪ねて見れば石室にしみ雨水の雫つづける
砂三　桜井　文子

慶弔録

出生（おすこやかに）

親の名	続柄	子の名	月日	部落
樋口俊文	長男	雄一	9・20	南祝
正司雅晴	三男	敏之	9・21	向井関
橋本敏雄	長女	由香	9・30	小西
古川敏晴	長女	聖子	10・8	浜表
縄田弘志	長男	岳志	10・8	浜表
竹杉俊二	二男	洋二	10・7	浜
中原峰人	二男	聡	10・12	南祝
中村　進	長女	浩子	10・12	竹原
中本孝治	長男	昌男	10・15	岩西
新谷政芳	長男	一人	10・20	西条
曽田啓志	二女	蘭子	10・22	縄北
曽田啓志	長男	一馬	10・22	縄北

婚姻（おしあわせに）

氏名	旧姓	住所
田中公志	里子（宮本）	和歌山県有田市
吉藤征男	徳山市	
トシ子（山本）	北祝	
弘中泰雅	裕子（中村）	宇部市

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年齢	部落
前野　明憲	10・7	25	飛石
竹原　栄治	10・14	49	門松
藤井　ミチ	10・14	78	沖の原
古谷キクノ	10・16	85	浜表
藤永　謹助	10・27	80	旦東